

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.78

調査者	阿部 隆宏, 齊藤 正和
情報ソースの刊行日	2021 年 6 月 8 日
情報ソースの調査日	2021 年 6 月 9 日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021 年 6 月 11 日
日本語タイトル	COVID-19 パンデミックが身体活動に及ぼす影響
情報ソース	Taylor JK et al. Lockdown, slow down: impact of the COVID-19 pandemic on physical activity-an observational study. Open Heart. 2021 Jun;8(1)
情報のカテゴリー	生活期の心リハ(介護・福祉系を含む)
発信地域	ヨーロッパ(UK)
URL	https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34088789/
要約	<ul style="list-style-type: none"> 本研究は、Triage-HF Plus Evaluation study のデータを利用し、イギリス国内の COVID-19 に対するロックダウン措置が身体活動量(PA)に与える影響を前向きに調査した。 PA は、植え込み型デバイスによる遠隔モニタリングを用いて調査した。 対象は 311 名(男性 77.2%、平均年齢 68.8 歳、フレイル併存率 55.9%)であり、92.2%が心不全患者であった。 ロックダウン 2 週後に PA は急激に減少し、4 週後には改善を認めたがロックダウン前までには戻らず、年齢やフレイルの有無などに関わらずロックダウン措置前後で 20.8 分/日低下した。